



多言語運行情報 ソリューション

多言語運行情報ソリューションは運行情報の多言語同時配信だけでなく、HPの運行情報も多言語化可能。
アフターコロナのインバウンド需要回復も見据え、
サービス向上の一步目となる情報配信の多言語化をお手伝いします。

運行情報を始めとする文字情報を
様々な仕組みで多言語化するシステム

■ 上野・有明方面		
普通	00:00	1
特快	00:00	2
快	00:00	3
特	00:00	2

Train Information

株式会社 JR東日本アイステーションズ



多言語運行情報ソリューションの特徴

- 1 鉄道分野に最適化されており、独特の言い回し、変換の難しい駅・列車名も正確に翻訳
- 2 文字・画像・音声でのご提供方法の中から選択でき、スピーディーに導入可能
- 3 ホームページ・スマホアプリ・SNS・駅構内・列車内など様々なシーンでの活用が可能
- 4 英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)の4言語に対応

様々なパターンでの多言語運行情報のご提供が可能です！

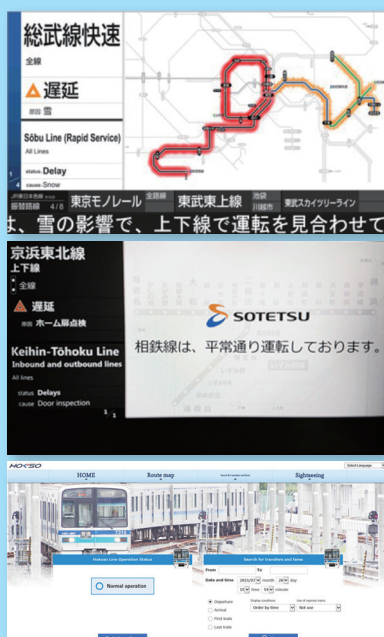
見出し方式	① 単語ベースでの簡易的な多言語配信 日本語に対応する各言語の単語情報を元に、区分ごとの多言語化を実現します。運行情報の場合、「路線」「状況」「原因」「時刻」「発生区間」「影響区間」等が対象区分です。
ハイブリッド方式 (定型文+機械翻訳)	② 多言語文章による配信 JR東日本アイステ이션ズが提供する公式・公認情報を活用し、多言語文章をご提供します。事前に用意した各言語の定型文を元に、日本語の内容に応じて、簡易な文章を作成の上配信いたします。定型文に当てはまらない複雑な文章は、全文を機械翻訳の上配信します。機械翻訳エンジンに、あらかじめ頻出する単語や、対訳文章を辞書登録することにより翻訳精度の向上を図ることができます。
機械翻訳方式 MATOS [®] (マトス)	③ HP上の日本語を読み取り、全文を多言語文章化して配信 HP上の日本語文章を読み取り、全文を機械翻訳の上、多言語文章として配信します。 ②同様、機械翻訳エンジンのカスタマイズにより翻訳精度の向上を図ることができます。元の文章は自社で作成して、翻訳データのみを利用したい場合などに、運用を変えることなく導入いただけます。

運行情報多言語変換システム「MATOS[®](マトス)」(MATOSはJR東日本アイステーションズの登録商標です)

多くの事業者様での実績あり

見出し方式

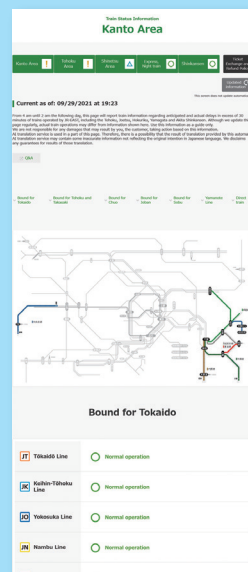
- 東日本旅客鉄道様
異常時案内用ディスプレイ
異常時案内用LED
駅発車標、どことレ
列車内LCD/LED
新幹線列車内LED
- 首都圏新都市鉄道様
(つくばエクスプレス)
北総鉄道様、埼玉新都市交通様
ホームページ
- 東京臨海高速鉄道様
横浜市交通局様
駅ディスプレイ、列車内LCD
- ゆりかもめ様
お客様案内ディスプレイ
- 近畿日本鉄道様
列車内LCD
- 相模鉄道様
駅ディスプレイ
- Google様
Google Maps



様々な形での多言語化を実現しております。

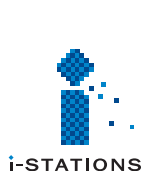
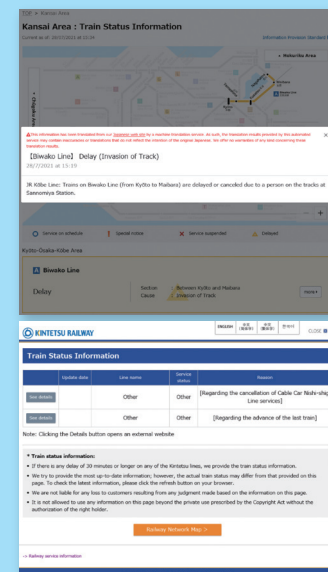
ハイブリッド方式

- 東日本旅客鉄道様
HP、Twitter、Weibo



機械翻訳方式

- 西日本旅客鉄道様、近畿日本鉄道様
ホームページ



株式会社 JR東日本アイステーションズ
 交通情報ソリューション事業窓口
 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
 JR恵比寿ビル10階

<https://www.jre-is.co.jp>



その他サービスはこちら

お問い合わせ、導入のご検討はこちらまで。



03-5447-7026



sales@jre-is.co.jp

2023年4月時点での情報です。